

第 31 回建設業経理事務士検定試験

3 級試験問題

注 意 事 項

1. 解答は、解答用紙に指定された解答欄内に記入してください。解答欄外に記入されているものは採点しません。
2. 金額の記入にあたっては、以下のとおりとし、1ますごとに数字を記入してください。

↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑
一	千	百	十	一	千	百	十	一
億	万	万	万	万	の	の	の	の
の	の	の	の	の	位	位	位	位
位	位	位	位	位				

3. 解答は、指定したワク内に明瞭に記入してください。判読し難い文字が記入されている場合、その解答欄については採点しません。
4. 設問中の各取引について、消費税は一切考慮しないこととします。
5. 解答用紙には、氏名・受験番号シール貼付欄が2カ所あります。2カ所とも、氏名はカタカナで記入し、受験番号は受験票に付いている受験番号シールを貼ってください。なお、受験番号シールがないときは、自筆で受験番号を記入してください。
(氏名・受験番号が正しく表示されていないと、採点できない場合があります。)

〔第1問〕 群馬工務店の次の各取引について、仕訳を示しなさい。使用する勘定科目は下記の〈勘定科目群〉から選び、その記号（A～U）と勘定科目を書くこと。なお、解答は次に掲げた（例）に対する解答例にならって記入しなさい。

（20点）

（例） 現金¥100,000を当座預金に預け入れた。

- (1) 手持ちの利付社債の利札のうち、¥5,500について支払期日が到来した。
- (2) 建設用機械を¥4,500,000で購入し、その代金及び引取運賃¥36,000は小切手を振り出して支払った。
- (3) 下請業者である宮崎工務店から、金額¥1,200,000の第1回出来高報告書を受け取った。
- (4) 出張していた営業部員が帰社し、かねて仮払金で処理していた旅費の概算払¥150,000を精算し、残額¥17,000を現金で受け取った。
- (5) 決算に際して完成工事原価¥300,000を損益勘定に振り替えた。

〈勘定科目群〉

A 現金	B 当座預金	C 仮払金	D 仮受金	E 工事未払金
F 未払金	G 未成工事支出金	H 完成工事未収入金	J 未成工事受入金	K 受取配当金
L 支払手数料	M 支払利息	N 有価証券利息	P 材料費	Q 旅費交通費
R 完成工事原価	S 完成工事高	T 機械装置	U 損益	

〔第2問〕 下記の〈資料〉に基づき、次の各設問の金額を計算しなさい。

（12点）

- 問1 当月発生工事原価
- 問2 月末未成工事支出金の残高
- 問3 当月完成工事原価のうち経費の総額
- 問4 当月完成工事原価

〈資料〉 平成×2年12月の工事別原価の発生状況を示す工事原価計算表

工事原価計算表

平成×2年12月

（単位：円）

原価要素 工事番号	材料費	労務費	外注費	経費	合計	当月末の状況
No. 203	28,400	13,000	10,200	×××	×××	完成
	198,200	86,300	120,800	42,100	447,400	
No. 204	18,200	×××	7,500	6,800	×××	完成
	268,900	200,400	116,200	70,200	655,700	
No. 205	—	—	—	—	—	完成
	306,500	245,900	186,400	98,700	837,500	
No. 206	—	—	—	—	—	未完成
	186,300	69,600	56,400	31,200	343,500	
計	1,006,500	629,700	497,500	×××	×××	

注1. 各欄の上段の数値は月初未成工事原価を示す。

注2. 前月より繰り越した未成工事支出金の残高は¥107,300であった。

〔第3問〕 次に掲げる＜平成×年3月中の取引＞を解答用紙の合計試算表の（イ）当月取引高欄に記入し、次いで（ア）前月繰越高欄及び（イ）の欄を基に（ウ）合計欄に記入しなさい。なお、（イ）の欄の各科目への記入は合計額によること。
(30点)

＜平成×年3月中の取引＞

- ① 現金¥100,000を当座預金から引き出した
- ② 工事契約が成立し、前受金¥250,000を小切手で受け取った。
- ③ 材料¥138,000を掛けで購入し、本社倉庫に搬入した。なお、材料は購入のつど材料勘定に記入し、現場搬送の際に材料費勘定に振り替えている。
- ④ 工事の未収代金の決済として¥260,000が当座預金に振り込まれた。
- ⑤ 本社事務員の給料¥70,000、現場作業員の賃金¥94,000を現金で支払った。
- ⑥ 取立依頼中の約束手形¥250,000が支払期日につき、当座預金に入金になった旨の通知を受けた。
- ⑦ 材料¥86,000を本社倉庫より現場に搬送した。
- ⑧ 銀行より¥100,000の借入れを行い、その利息¥2,000が差し引かれ、差額が当座預金に入金となった。
- ⑨ 材料の掛買代金支払のため、約束手形¥320,000を振り出した。
- ⑩ 外注業者から作業完了の報告があり、外注代金¥180,000の請求を受けた。
- ⑪ 当社振出しの約束手形¥240,000の期日が到来し、当座預金から引き落とされた。
- ⑫ 現場の電話代¥17,000を現金で支払った。
- ⑬ 工事が完成し、引き渡した。工事代金¥500,000のうち前受金¥200,000を差し引いた残金を請求した。

〔第4問〕 次の文の の中に入る適当な用語を下記の＜用語群＞の中から選び、その記号（ア～ス）を記入しなさい。
(10点)

- (1) a の回収可能見積額は、その勘定の期末残高から b の額を差し引いて計算される。
- (2) 大陸式決算法では、決算に際して c 勘定と d 勘定の2つが集合勘定として設定される。
- (3) 材料の消費単価の決定方法には、 e、移動平均法などがある。

＜用語群＞

ア 収益	イ 費用	ウ 損益	エ 継続記録法	オ 完成工事高
カ 負債	キ 完成工事原価	ク 先入先出法	コ 貸倒引当金	サ 完成工事未収入金
シ 取得原価	ス 残高			

〔第5問〕 次の＜決算整理事項等＞に基づき、解答用紙に示されている宮崎工務店の当会計年度（平成×年1月1日～平成×年12月31日）に係る精算表を完成しなさい。なお、工事原価は未成工事支出金勘定を経由して処理する方法によっている。
(28点)

＜決算整理事項等＞

- (1) 受取手形と完成工事未収入金の合計額に対して2%の貸倒引当金を設定する。（差額補充法）
- (2) 有価証券の時価は¥356,200である。評価損を計上する。
- (3) 機械装置（工事中）について¥32,000、備品（一般管理用）について¥14,000の減価償却費を計上する。
- (4) 借入金の利息の未払分¥2,600がある。
- (5) 未成工事支出金の次期繰越額は¥145,600である。

3 級紙
解答用紙
(その2)

氏 名		受験番号シール貼付欄
姓	姓をカタカナで記入してください。	受験票から受験番号シールをはがして、ここに貼り付けてください。
名	名をカタカナで記入してください。	シールがない方は下欄に自筆で受験番号を記入してください。

[第3問]

合計試算表

平成×年3月31日現在

(単位：円)

借 方			勘 定 科 目	貸 方		
(ウ)合計	(イ)当月取引高	(ア)前月繰越高		(ア)前月繰越高	(イ)当月取引高	(ウ)合計
		2980000	現 金			
		5140000	当 座 預 金			
		4950000	受 取 手 形			
		6653000	完成工事未収入金			
		7690000	材 料			
		2800000	機 械 装 置			
		6500000	備 品			
			支 払 手 形	2680000		
			工 事 未 払 金	1150000		
			借 入 金	2600000		
			未 成 工 事 受 入 金	1238000		
			資 本 金	10000000		
			完 成 工 事 高	8920000		
		8660000	材 料 費			
		6050000	労 務 費			
		5650000	外 注 費			
		2340000	経 費			
		3680000	給 料			
			雑 収 入	8000		
		1600000	支 払 利 息			
		26596000		26596000		

[第4問]

記号 (ア～ス)

a	b	c	d	e

〔第1問〕

No.	借 方			貸 方		
	記号	勘定科目	金額	記号	勘定科目	金額
(1)	A	現金	5,500	N	有価証券利息	5,500
(2)	T	機械装置	4,536,000	B	当座預金	4,536,000
(3)	G	未成工事支出金*	1,200,000	E	工事未払金	1,200,000
(4)	Q	旅費交通費	133,000	C	仮払金	150,000
	A	現金	17,000			
(5)	U	損益	300,000	R	完成工事原価	300,000

*勘定科目群に「外注費」勘定がないため、「未成工事支出金」勘定を使用する（統制勘定仕訳法）。

〔第2問〕

問1 ￥2,284,100

問2 ￥343,500

問3 ￥226,500

問4 ￥2,047,900

〔第3問〕

合計試算表

借 方			勘定科目	貸 方		
(ウ)合計	(イ)当月取引高	(エ)前月繰越高		(エ)前月繰越高	(イ)当月取引高	(ウ)合計
648,000	350,000	298,000	現金		181,000	181,000
1,122,000	608,000	514,000	当座預金		340,000	340,000
495,000		495,000	受取手形		250,000	250,000
965,300	300,000	665,300	完成工事未収入金		260,000	260,000
214,900	138,000	76,900	材料		86,000	86,000
280,000		280,000	機械装置			
65,000		65,000	備品			
240,000	240,000		支払手形	268,000	320,000	588,000
320,000	320,000		工事未払金	115,000	318,000	433,000
			借入金	260,000	100,000	360,000
200,000	200,000		未成工事受入金	123,800	250,000	373,800
			資本金	1,000,000		1,000,000
			完成工事高	892,000	500,000	1,392,000
172,600	86,000	86,600	材料費			
154,500	94,000	60,500	労務費			
236,500	180,000	56,500	外注費			
40,400	17,000	23,400	経費			
106,800	70,000	36,800	給料			
			雑収入	800		800
3,600	2,000	1,600	支払利息			
5,264,600	2,605,000	2,659,600		2,659,600	2,605,000	5,264,600

〔第4問〕

a	b	c	d	e
サ	コ	ウ	ス	ク

〔第5問〕

精算表

勘定科目	残高試算表		整理記入		損益計算書		貸借対照表	
	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方
現金	302,000						302,000	
当座預金	402,600						402,600	
受取手形	359,600						359,600	
完成工事未収入金	800,400						800,400	
貸倒引当金		16,800		6,400				23,200
有価証券	364,700			8,500			356,200	
未成工事支出金	278,000		2,111,000	2,243,400			145,600	
材料	486,000						486,000	
貸付金	360,000						360,000	
機械装置	640,000						640,000	
機械装置減価償却累計額		288,000		32,000				320,000
備品	420,000						420,000	
備品減価償却累計額		112,000		14,000				126,000
支払手形		659,500						659,500
工事未払金		478,200						478,200
借入金		287,000						287,000
未成工事受入金		182,200						182,200
資本金		2,000,000						2,000,000
完成工事高		2,871,200				2,871,200		
受取利息		36,000				36,000		
材料費	824,000			824,000				
労務費	518,000			518,000				
外注費	425,000			425,000				
経費	312,000		32,000	344,000				
支払利息	24,000		2,600		26,600			
その他の費用	414,600				414,600			
	6,930,900	6,930,900						
完成工事原価			2,243,400		2,243,400			
貸倒引当金繰入額			6,400		6,400			
減価償却費			14,000		14,000			
有価証券評価損			8,500		8,500			
未払利息				2,600				2,600
			4,417,900	4,417,900	2,713,500	2,907,200	4,272,400	4,078,700
当期（純利益）					193,700			193,700
					2,907,200	2,907,200	4,272,400	4,272,400